ぽのぽの
ぽのぽの通信

児童通所支援事業所
ぽのぽの
平成２７年２月発行

児童発達管理責任者　兵頭の　ジド管　新チョッとコラム第2回　今回のお題　　新しい私（兵頭）

年が明けて早1ヶ月がたとうとしている今日この頃・・・皆さんはいかがお過ごしですか？おなじみのジド管です。今日は年も明けた事もあるので新しい私（NEW兵頭）についてお話したいと思います。実は私兵頭は歯医者が大嫌いでした。しかし今年度は歯医者を克服することを目標にしておりました。しかし恐怖には勝てずずっとほっといていたところ遂に我慢できないくらいの虫歯が発生!!!急いで歯医者にいったところ大人になった私（39歳）は幼少の時に感じた痛みはなく、それどころか心地よいくらいに成長しておりました。今年度の目標「歯医者に通う」が達成でき苦手が克服できました。成長ってほんとにいいですね（水野晴夫）

たこあげ

丸山公園

駅まで散歩

☆　外あそび　☆

ぽのぽのの活動について今回は外遊びを取り上げてみたいと思います。ぽのぽのでは散歩や公園など外に出て活動することがよくあります。外にはたくさんの刺激があり、経験から学ぶことがたくさんあるからです。例えば「さんぽ」のある場面をイメージしてみて下さい・・・。
Nさんと支援員が散歩をしているとたんぽぽの綿毛を見つけました。それを支援員が「ふぅー」と吹いて見せるとNさんも真似をして「ふぅー」と吹いて綿毛を飛ばします。またしばらく歩いていると虫を見つけて「これなに？」「これはちょうよ。ひらひらとんでるね、小さいね、きれいだね。」と話しながらじーっと観察をします。この何気ない場面の中にもたんぽぽや虫を見つける「視覚」、たんぽぽに触れる、風が肌に触れる「触覚」、外に出ると車の走る音、鳥の鳴く声が聞こえる「聴覚」などの感覚刺激があり、五感を通して学ぶことで見る、聴く、触る力、そして考える力を身に付けることができます。また、虫を見つけた場面では、子どものが興味に支援員が応えることでものの名前の理解やコミュニケーションの力を学ぶ機会にもなります。「ひらひらとんでるね、小さいね、きれいだね」と見たことや気持ちを言葉にして伝えることも子どもの興味に合わせて言葉を学ぶことにつながります。
このように外遊びは楽しいだけじゃなく子どもの育ちに必要なことがいっぱいです。今後もぽのぽのでは積極的に取り入れて行きたいと思います。

西予総合福祉会ホームページ：http://www.seiyofukushi.com/
サイト内の　養護・障がい福祉事業部からのお知らせ　にて松葉学園、いっとき館、ぽのぽの、夢の家のブログ更新中。行事の様子や広報などを掲載しています。よろしくお願いします。

養護・障がい事業部からのお知らせ